

平成29年度全学FD委員会調査・分析ワーキンググループ活動計画

ーFD推進センター基本計画の調査・分析ワーキンググループ活動計画への反映ー

FD推進センター基本計画 平成29年度 調査・分析 ワーキンググループ活動計画	中期計画（平成28年度～平成29年度）		教育の質的転換に向けた 検討事項及び対応方針
	①日本大学におけるファカルティ・ディベロッパー（FDe r）の在り方を踏まえた部科校への浸透策の検討：日本大学におけるファカルティ・ディベロッパー（以下、FDe r）の在り方を踏まえ、部科校におけるFDe rの養成方策の検討並びに部科校におけるワークショップ等各種職能開発プログラムの企画・実現に向けた諸方策について検討する。	②学生参画型FD活動の在り方を踏まえた部科校への浸透策の検討：日本大学における学生参画型FD活動の在り方を踏まえ、部科校における学生参画型FD活動の浸透策を検討する。また、浸透した機運や活動を実際の教育の質的向上に向けた取組につなげていくための諸方策を検討する。	
FD等教育開発・改善活動に関する調査の実施	①本学学部及び短期大学部におけるFD活動の実態を継続的に調査することにより、FD活動の進捗状況や経年変化を把握する。 ②本学大学院におけるFD活動の実態を継続的に調査することにより、FD活動の進捗状況や経年変化を把握する。		
日本大学におけるファカルティ・ディベロッパー（FDe r）の在り方を踏まえた部科校への浸透策の検討	中期計画の最終年度として、平成28年度に検討した本大学におけるファカルティ・ディベロッパー（FDe r）の在り方を踏まえた部科校への浸透策の検討内容をプログラムWGと協働連携し実施し、その結果をまとめる。	—	—
学生参画型FD活動の在り方を踏まえた部科校への浸透策の検討	—	引き続き全学レベル・部科校レベルでの学生参加型FD活動の有機的な連携の仕組みについて検討する。部科校ごとの固有性を活かした活動の雛型となるメニューを提供すべく学内外の事例を分類・整理する。学生FD活動の学内外での情報発信・情報共有の諸方策を検討する。また中期計画の最終年度として、教育の質的向上に向けた取組につなげていくための諸方策を検討する。これらを踏まえ、検討内容をまとめる。	—
学生による授業評価アンケートの全学的統一に係る諸検討	—	「学生による授業評価アンケートに係る調査項目等の全学的な統一」に関し、「全学共通統一調査項目」に係る調査結果のデータの分析を引き続き行い、これらの改善・活用方策を検討する。また、公表方法の在り方について引き続き検討する。	—

【平成28年度第5回全学FD委員会承認】

<p>教育改善に資するデータの収集及び分析に係る諸検討</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>本学における教育改善に資するデータの収集及び分析（いわゆる教学IR）の役割・必要性について検討し、どのようなデータが必要なのか、それをどのような方法で収集し、分析するのかについて、その方法等を検討する。また、必要に応じてプログラムWGと連携する。</p>
<p>学生による授業評価アンケート結果の活用</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>「学生による授業評価アンケート」に対する教員の意識調査の分析を踏まえ、教育の質保証につながる効果的なアンケートの具体的な活用方法を検討する。</p>
<p>教員の教育業績評価方法等に係る諸検討</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>本学において、何のために教員の教育業績を評価するのか、その目的とその活用方法を検討し、その実行のためのモデルとなる具体的な方策等を策定する。</p>